

第 5 講座 日本^の成り立ち

	旧石器時代	縄文時代	弥生時代
時期	～1万2千年前ごろ	1万2千年前～紀元前4世紀ごろ	紀元前4世紀～紀元3世紀ごろ
遺跡	岩宿遺跡, 野尻湖の発掘	大森貝塚, 三内丸山遺跡	登呂遺跡, 吉野ヶ里遺跡
遺物	打製石器	磨製石器, 縄文土器 たて穴住居	磨製石器, 弥生土器, たて穴住居, 青銅器, 鉄器, 高床倉庫
仕事	狩りや漁・採集	狩りや漁・採集が中心	稲作が広まる
社会	岩かげなどに住む, 獲物を追って移住する	台地に住む, 貧富の差が少ない社会	低地に定住, 指導者が現れ身分の差が大きくなる, 国の出現
信仰		自然信仰, 土偶	豊作を神に祈る祭り

▲旧石器時代・縄文時代・弥生時代

1 縄文時代

- 日本列島の成立…約1万年前に氷河時代が終わって海水面が上昇し、日本列島が成立した。
- 土器の製作…日本列島が成立したころから土器がつくられるようになる。縄目の文様が見られる縄文土器が多い。
- 生活…狩りや漁・採集が中心で、農耕・牧畜はあまり行われない。小さな集団で、たて穴住居に住んでいた。
- 道具…縄文土器のほか、磨製石器を使用。まよけや豊かさを祈るために使われたと考えられる土偶がつくられた。
- 遺跡…貝塚（縄文時代の人々が食べ物のかすなどを捨てたあと）から、当時の道具や骨が見つかり、縄文時代の生活を知ることができる。青森県の三内丸山遺跡から、大きな建物のあとなどが発見された。
- 縄文時代…縄目のような文様がつけられた縄文土器がつくれ、狩りや採集を中心に生活していた時代を縄文時代という。



▲縄文土器



▲弥生土器

2 弥生時代

- 稲作…紀元前4世紀ごろ、大陸から稲作が伝えられる。稲作は、東日本まで急速に広がった。稲をたくわえる高床倉庫がつくれ、石包丁などの農具が使われた。
- 金属器…稲作の伝来と同じころ、青銅器や鉄器も伝えられる。青銅器はおもに宝物として、鉄器は武器や工具として使われた。
- 土器…縄文土器よりも模様が少なく、使いみちにあわせてつくられた弥生土器がつくられるようになった。
- 生活…水田の周りにたて穴住居を建て、むらをつくっていた。集団の作業を指導する者が現れた。吉野ヶ里遺跡は、集落の周りが濠や柵で囲まれている。



▲青銅器

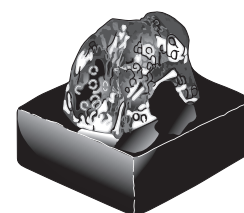
- (5) 弥生時代…稲作が行われ、弥生土器が使われていた時代を弥生時代といい、紀元前4世紀ごろ～紀元3世紀ごろまで続いた。

3 国の出現

- (1) 小さな国の出現…食料や用水などをめぐる争いがおこるようになり、豪族や王が支配する小さな国ができるようになった。
- (2) 紀元前後の倭…100あまりの国があり、中国に使いを送る国もあったことが、中国の歴史書に記されている。
- (3) 金印…1世紀の半ば、奴国の王が漢（後漢）に使いを送り、皇帝から「漢委（←倭のこと）奴国王」と刻まれた金印を授けられた。江戸時代に志賀島（福岡県）で発見されたものがこの金印であると考えられている。

中国	漢		三国	南北朝
世紀	1	2	3	4 5
	57		239	478
漢の歴史書	「魏志倭人伝」		倭王武の手紙	
金印を授けた。	余りの奴隷がいつしも守っていた。卑弥呼が死ぬと、大きな墓がつくられ、百人の奴隷がいつしよにうめられた。		わたしの祖先は、みずからよろいがかぶとを身につけ、山や川をかけめぐり、東は55国、西は66国、さらに海をわたって95国を平定しました。その結果、皇帝陛下のご威光が遠くまで広がりました。わたしに高い官位をあたえて、激励してください。	

▲中国の歴史書に見る倭の国のようす
江戸時代に志賀島（福岡県）で発見されたものがこの金印であると考えられている。

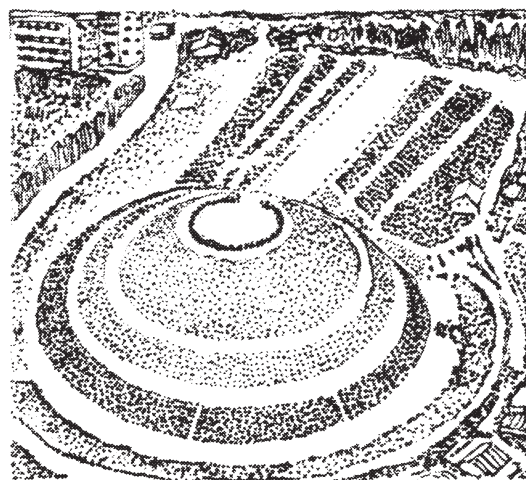


▲金印

- (4) 「魏志倭人伝」からわかること
- ① 3世紀の倭には、邪馬台国という国があり、女王卑弥呼が30あまりの国を従えていた。身分のちがいがあった。
 - ② 卑弥呼は中国の魏に使いを送り、皇帝から親魏倭王の称号や金印・銅鏡などを授けられた。

4 古墳と大和政権(ヤマト王権)

- (1) 古墳…王や豪族の墓。円墳・方墳・前方後円墳などの形がある。大仙（仁徳陵）古墳は最大の古墳である。
- (2) 大和政権(ヤマト王権)…3世紀後半、大和（奈良県）を中心とする地域に成立した政府を大和政権(ヤマト王権)といい、氏とよばれる集団でまとまっていた豪族によって組織されていた。この地域には、巨大な前方後円墳が集中している。
- (3) 大和政権(ヤマト王権)の発展…5世紀には東北南部から九州までの国を従えるようになった。大和政権(ヤマト王権)の王は、各地の王を従え、大王とよばれるようになった。
- (4) 古墳文化…古墳の周りや頂上には素焼きの埴輪が置かれ、墓の内部には鏡・玉や鉄剣などが納められた。



▲前方後円墳

5 大陸とのつながり

- (1) 中国…5世紀ごろから南朝と北朝の対立が続く(南北朝時代)。5世紀に大和政権の大王は、倭王としての地位と朝鮮南部の支配権を認めてもらおうとして、南朝にたびたび使いを送った。
- (2) 朝鮮…北部で高句麗が勢力をのばし、南部に百済と新羅が成立。伽耶（加羅、任那）地域の小国や百済と結びついた大和政権は、高句麗や新羅と戦った。
- (3) 渡来人…朝鮮半島や中国から移り住んだ人々。須恵器の製法や高級な絹織物の技術、土木技術、漢字、儒教などを日本に伝えた。



▲5世紀ごろの東アジア

確認問題

1 縄文時代の日本 次の問いに答えなさい。

- (1) 日本列島が成立したのは、約何万年前か。〔 〕
- (2) 縄目のような文様のついた土器を何というか。〔 〕
- (3) 縄文時代に使われていた石器で、石を磨いて形を整えたものを何というか。〔 〕
- (4) 貝がらなどのごみ捨て場が遺跡として残ったもので、縄文時代の人々の生活を知る手がかりとなる遺跡を何というか。〔 〕
- (5) 地面を掘り下げた床に柱を立て、草や木の枝で屋根をふいた住居を何というか。〔 〕
- (6) 豊かな生活を願うなどのため、人間をかたどって焼いた土の人形を何というか。〔 〕
- (7) 巨大な建物のあとや道路のあとなどが発見された、青森県にある縄文時代の大規模な遺跡を何というか。〔 〕

2 弥生時代の日本 次の問いに答えなさい。

- (1) 紀元前4世紀ごろ、大陸から九州北部に伝えられ、急速に東日本まで広まった農耕は何か。〔 〕
- (2) 弥生時代につくられるようになった土器で、縄文土器よりも模様が少なく、使いみちにあわせてつくられたものを何というか。〔 〕
- (3) 大陸から伝えられ、おもに銅鐸や銅剣・銅鏡などが宝物として利用された金属器を何というか。〔 〕
- (4) 弥生時代の人々は、収穫した稲の穂を何という建物におさめたか。〔 〕
- (5) 稲の穂をつみとるために用いられた、石をみがいてつくった農具を何というか。〔 〕
- (6) 1980年代に大規模な環濠集落が発見された、佐賀県東部の遺跡を何というか。〔 〕

3 古代国家のおこり 次の文中の□□□□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 1世紀の半ばに倭の□□□□の王は、漢の皇帝から「漢委奴国王」と刻まれた金印を授けられた。〔 〕
- (2) 3世紀の倭では、□□□□という国が30あまりの小さな国を従えて栄えていた。〔 〕
- (3) (2)の国をおさめていた女王□□□□は、中国の魏に使いを送って金印を授けられた。〔 〕
- (4) 円形と方形を組み合わせた形の古墳である□□□□は、日本に多くある。〔 〕
- (5) (4)のうち、大阪府堺市にある□□□□は日本最大級の古墳である。〔 〕
- (6) 古墳の周りや頂上には、家・動物・人などをかたどった□□□□が置かれた。〔 〕
- (7) 近畿地方の豪族たちが連合してつくった政権を□□□□という。〔 〕
- (8) (7)の政権の王を□□□□という。〔 〕
- (9) 朝鮮や中国から倭へ移り住んだ□□□□とよばれる人々は、ため池造りや養蚕・機織りなどのすぐれた技術をもたらしした。〔 〕
- (10) 5世紀になると、大和政権(ヤマト王権)の大王は、倭王としての地位と朝鮮南部の支配権を認めてもらおうと、中国の□□□□にたびたび使いを送った。〔 〕
- (11) 伽耶(加羅、任那)地域の小国や百済と結びついた大和政権(ヤマト王権)は、朝鮮に兵を送って、高句麗や□□□□と戦った。〔 〕

練習問題

1 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

(1) 地図中①～③に示した遺跡について、次の説明文中の□にあてはまる語句をあとの〔 〕からそれぞれ選び、答えなさい。

- ① この遺跡は相沢忠洋が□時代の石器をはじめて発見した岩宿遺跡である。
- ② この遺跡はアメリカの学者モースがはじめて縄文土器を発見した大森□である。



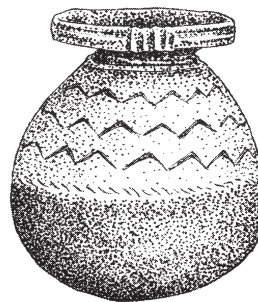
③ この遺跡は1990年代に発掘が進められ、数多くの□住居や巨大な柱が出土した三内丸山遺跡である。

〔古墳 貝塚 新石器 たて穴 旧石器 縄文〕

(2) 右の絵は、地図中の吉野ヶ里遺跡の時代に使われた土器である。このような土器を何というか。

(3) 弥生時代になって急速に広まったことがらを次から2つ選び、記号で答えなさい。

- ア 土器づくり イ 石器づくり ウ 米づくり
- エ 金属器の製作 オ 岩かげにすむこと



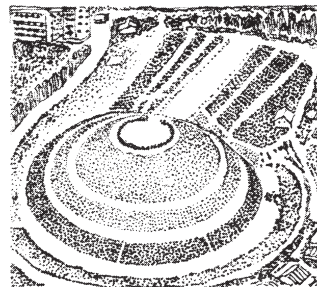
1

	①
(1)	②
	③
(2)	
(3)	

2 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

3世紀ごろ、倭(日本)には邪馬台国という国があり、女王□が30あまりの国々を従え、A中国と交わりを結んでいた。その後、3世紀後半から4世紀はじめごろ、近畿地方から瀬戸内海沿岸の各地に多くのB古墳がつくられ始めた。特に大和・河内地方を中心とする地域には、C大きな古墳がつくられ、この地域にD強力な国ができていたと考えられる。

- (1) 文中の□にあてはまる人物名を答えなさい。
- (2) 下線部Aの中国の王朝の名を答えなさい。
- (3) 下線部Bの古墳の周りや頂上には、人・動物などをかたどった素焼きの土製品が並べられた。この土製品を何というか。
- (4) 下線部Cについて、右の絵で表したような形の古墳を何というか。
- (5) 下線部Dの国の政府のしくみについて、次の文中のa・bにあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。



この国は、□aを中心に有力豪族によって成立していた。豪族は□bとよばれる集団をつくり、□aから臣・連などの役職をあたえられた。

- (6) 古墳がつくられたころ、中国や朝鮮から日本に移り住んだ人々を何というか。
- (7) 伽耶(加羅, 任那)地域の他に、6世紀に日本と結びつきの強かった朝鮮半島の王朝を何というか。

2

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	a
	b
(6)	
(7)	